

日研総業株式会社

●所在地 東京都大田区
●事業所数 約70事業所

●雇用障害者: 肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者、音声・言語障害者、内部障害者、知的障害者、精神障害者

職場実習、トライアル雇用をとおして その人に何が出来るかを判断して受け入れ

障害者雇用に理解がある社風

製造業や技術系の派遣をはじめ幅広い分野での総合人材サービスを提供している日研総業株式会社。同社のモットーである「ことを成す根源は人材(財)である」という基本姿勢のもと、現在約70ある全国の事業所のほとんどで障害者を採用しており、中には10名を超える事業所もあり、雇用拡大は全社的な広がりを見せています。2004年5月には岡山県倉敷市に特例子会社として株式会社日研環境サービスを設立し、知的障害者を中心に、今では約50名の障害がある人の雇用を実現しています。

また、派遣スタッフ向けのトレーニングセンターが全国に10カ所、うち3校は認定職業訓練校になっており、そこで培ったスキルアップや人材育成のノウハウを障害者の方向けにも広げていくことを検討しています。

そして今回、本社の管理部人事課で1人の若い女性が働き始めました。

Close Up



まず職場実習でその人の適性を知ることが大事

管理部人事課係長
望月 敦さん

えるさんの場合は、人事課メンバーの一致した声に後押しされた面もありますが、やはり職場実習が大きな力になったと思いますね。雇用の基本は障害の有無ではなく、その人に何が出来るかだと考えています。面接だけではわかりません。とにかく、来てもらわないと、何が出来るのかわからないわけですから。まず、職場実習で受け入れることが大事ではないでしょうか。

各事業所で障害者を雇用する場合、ハローワークに求人を出すと同時に、必要な助言・支援を得るため、東京障害者職業センターをとおして、各地域の障害者職業センターに情報を提供していただく形を取っています。その中で、最近では精神障害者の雇用も増えてきています。雇用前の職場実習期間に*ジョブコーチを派遣していただくことで、本人がスムーズに仕事を覚えることが出来たというケースもありました。近年は就労支援機関などのサポートが充実してきており、これからは、このような機関と連携を取りながら、受け入れを進めていくことが重要だと考えています。



田中さんを中心に管理部人事課の仲間と

トライアル雇用を経て本採用

「おはようございます！」今朝も田中えるさんの明るい声が課内に響きます。肢体不自由と知的障害のある田中さんは、この7月から本社の管理部人事課に配属になりました。

就労支援機関の紹介により、田中さんが通っていた特別支援学校からの依頼で、職場実習を受け入れたのは、今年1月のことです。シュレッダーの操作やテプラを使った書類のファイリングなど、2週間の実習で飲み込みの早い彼女の姿を見て、4月には*トライアル雇用を開始。パソコンを使えることなどが決め手となって、3ヵ月後に晴れて本採用になりました。

障害者雇用の窓口である管理部人事課の係長で、田中さんの直属の上司である望月敦さんは、「実習とトライアル雇用期間中に、だいたい彼女に何が出来るかわかりましたが、実際に雇用するとなると、彼女がモチベーションを維持できる仕事を継続的に準備できるかが重要です。そこで、人事課のメンバーが集まって、えるさんをお願いしたい仕事はどんなものがあるかを話し合いました。皆、えるさんを迎え入れたという気持ちが強くありましたからね」

皆で選んだ業務は、現在田中さんの仕事としてマグネットカードに記入され、「仕事予定表ボード」で整理されています。

できることを無理なく、少しずつ広げていく

田中さんの一日は、専用の「仕事予定表ボード」に、その日の日付と曜日を貼り出すことからスタートします。そして、望月さんが策定した1日の仕事の割り振りによって、作業を始めます。集中力を考慮して、各仕事は1時間から1時間半以内に収めています。「一連の仕事を全部任せるのではなく、できる箇



田中さん専用の仕事予定表ボード
これを見ながら1日の仕事をこなす

所をピックアップしてそこだけを任せるのがポイントです。また、できない箇所はなぜできないのか、できるようにするためにはどうしたらいいのかの検討も行い、必要であれば業務手順や帳票を変更しています。その結果、当初はできなかった箇所ができるようになった業務もあります(望月さん)。

また、「こちらがひと手間かければ、理解が早い」ため、ほとんどの業務で専用のマニュアルを人事課メンバーで準備しました。使い勝手が悪ければ、その都度作り直します。初めの頃はシュレッダー、ファイリングなどが田中さんの主な業務でしたが、今では、下書きを用意すればパソコンで雇用契約書もつくることが出来ます。近い将来、下書きがなくても自分で雇用契約書を作成できるのではないかと期待されています。田中さんがパワーポイントを使えることもわかり、仕事の幅はどんどん広がっています。

また、田中さんが入社してから、課内の雰囲気は以前にも増して和やかになったといえます。昼休みも田中さんが話題の中心で、ある女性スタッフは「えるさんの笑顔と一生懸命な姿を見

*トライアル雇用

障害者に関する知識や雇用経験がないことから、障害者雇用をためらっている事業所に、障害者を試行雇用の形で受け入れてもらうことで、本格的な障害者雇用に取組むきっかけづくりを進める事業。

*ジョブコーチ

職場適応援助者ともいう。地域障害者職業センターと社会福祉法人等に配置されている。知的障害者、精神障害者などの障害者の職場適応を容易にするため、雇用の前後を問わず必要なタイミングに、事業所へ出向いて、障害者と事業主の双方にきめ細かな人的支援を行う。その他、事業主が自ら雇用している障害者のために配置することもできる。



田中さんの周りには笑顔がたえず、和やかに



パソコンでデータを入力。パワーポイントを自宅から電車を乗り継いで
使えることがわかり、仕事の幅も広がりそう 車椅子で出勤

ていると、私もがんばろうという気持ちになります」と話します。つかず離れずといういい距離感で、いつでも誰かが見守っています。月に一度は、在籍した特別支援学校の教諭やご家族を交えた懇親会を催すなど、職場定着の取組みにも努めています。

● 仕事予定表 ●

ボードに1日の予定を人事課メンバー全員がわかるように表示。皆で選んだ彼女の業務の中から、毎日数項目ずつ時間を決めて行う。

えるの仕事予定表 8月3日(金)

☆午前☆		
業績評価シートのスキャナー	9:30 ~ 10:30	
シュレッダー	10:30 ~ 11:00	
業績評価シートのデータ入力	11:00 ~ 12:00	
☆午後☆		
業績評価シートのデータ入力	13:00 ~ 14:00	
履歴書のスキャナー	14:00 ~ 15:00	
シュレッダー	15:00 ~ 15:30	
業績評価シートのスキャナー	15:30 ~ 16:30	
☆今月の予定☆	8/11 ~ 8/19: 夏休み ☺	

雇用契約書のデータ入力	障害者雇用率表のデータ入力
雇用契約書のスキャナー	スキャナー シール貼り
雇用契約書のファイリング	封筒の修正 切手はがし
雇用契約書の作成	封筒の分類 穴あけパンチ
	テプラ ハンコ押し

Position



管理部人事課
田中 えるさん
(肢体不自由、知的障害)

毎日楽しく仕事をしています パワーポイントが使える仕事をしてみたい

朝7時に起きて、8時30分に家を出ます。学校に通っていた時と同じ時間だから少しも大変ではありません。ワープロは小さい時からやりました。片手入力だけど、結構早く打てます。また、パワーポイントは、学校在籍時に先生と一緒にパ

ソコン教室で練習したので、仕事で使えたらいいなと思っています。みんな優しいし、休憩時間におしゃべりするのが楽しいです。お小遣い帳はエクセルでつけています。お金を貯めて、大好きなアイドルグループのコンサートに行きたいです。